

氏名	宮本 幸奈	学校名	茨城県 高萩市立高萩小学校
担当教科等	全教科	対象学年（人数）	第3学年（30名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2019年7月～11月（7時間）		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域： 国語/図工/学活/外国語活動/道徳		
2. 単元(活動)名：広げよう！マイワールド！		
3. 授業テーマ(タイトル)と単元目標 授業のテーマ：日本以外にたくさんの文化があることを知り、世界を広げる 単元目標： ・ 世界に興味をもち、異文化を受け入れようとするができる。 ・ ネパールの文化や生活を知ることを通して、日本の良さに気付くことができる。 関連する学習指導要領上の目標： 「日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、多様な考え方があることに気付くこと。」（『小学校学習指導要領』第4章 外国語活動、第2各言語の目標及び内容等、〔知識及び技能〕(1)イ(イ)）		
4. 単元の 評価規準	①知識及び技能	ネパールについての文章を読み、その内容を整理し、文化について理解することができる。
	②思考力、判断力、表現力等	文化を体験したり、学習したりすることで自分の思いや自分にできることを表現することができる。
	③学びに向かう力、人間性等	ネパールについて興味をもち、受け入れようとする。疑問に思ったことを自分で調べようとする。
5. 単元設定の理由・単元の意義（児童/生徒観、教材観、指導観）	<p>【単元設定の理由】 本単元では、3年生という学年を考慮し「世界に目を向ける」ということに重点をおいて進めるために、文化に注目して単元構成を行った。1時間目から6時間目までは、文化交流やその国の様子について学習をし、最後の単元では自分たちができることは何かを考えるという流れにした。</p> <p>【単元の意義】 単元では全体を通して、他の国に興味をもつということを経験として授業を展開する。まずは、担任が教師海外研修で行ったネパールについて知ること、アメリカやオーストラリアのような先進国以外にも国があり、国の発展のために頑張っているということや日本との違いに気付けるように題材を設定する。</p> <p>【児童／生徒観】 本学年は、明るく活発な児童が多い。3年生になって、外国語活動が始まりいろいろな国のあいさつやじゃんけんの仕方などを学習し、日本以外にもたくさんの国があるということを知った。また、その中で服装の違いや肌の色の違いなどにも気付いていた。その一方で、海外に興味はあるものの自分たちにとって、身近な話題として考えることは難しいようであった。また、海外といえば国の名前を知っているだけで、その国の文化等については知らないことが多かった。言語については海外といえば「英語」というイメージをもつ児童が多かった。</p> <p>【指導観】 本単元では学活や図工、外国語活動の時間を通してネパールの文化について知り、身近な国としてとらえられるようにしていく。写真を提示したり、現地で調達した物を使ったりして異文化体験を行い、楽しいという思いをもてるようにしていく。そこから発展させ、世界にはどのような国があるのかということに興味関心をもてるようにもしていく。また、他の国の文化を受け入れることができるように配慮し、自分の世界を広げていくきっかけとなるようにしたい。</p>	

6. 単元計画（全7時間）				
時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	学活 「ネパールってどんな国？」	ネパールの場所、人口、町の様子などを知り、興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使って、ネパールの基本的情報を知る。 ・話を聞いてから、ネパールのイメージを書き出す。 ・ネパールについて知りたいことを考える。（担任へのミッション） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート① 【資料1】 ・パワーポイント①
2	図工 「うちわを使って交流しよう」	自分たちの思いをうちわに絵や文で表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの好きな物やことをネパールの子どもたちに伝えるように絵と英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うちわ
		 <p>【板書】</p>	 <p>【うちわ作成中の様子】</p>	
		 <p>【ネパールの子どもたちに見せた集合写真】</p>		
3 ・ 4	学活 ・ 外国語活動 「ネパールふしぎ発見！」	うちわのメッセージを読んだり、ネパールの衣装や食べ物についてクイズや体験活動をしたりして学び、感想を伝え合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ネパールOXゲーム」を行う。日本と同じことや違うことに焦点をあてたOXクイズに答えることを通して、ネパールの文化を理解する。 ・事前（第1時）に、児童から先生にネパールで調べてきて欲しいことを伝えていたので、その答えを通して、ネパールの生活の様子についてふれる。 ・ネパールの服装についての文化を写真で紹介し、買ってきたティカを付けたり、買ってきた衣服を身に付けて体験する。 ・教科書や食べ物、小物などにも触れ、体験した感想を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント② 【資料2】 ・パワーポイント③ 【資料3】 ・ワークシート② ・ネパールの本 ・教科書 ・服 ・米 ・雑貨 ・お金

		 <p>【文化体験の様子①】</p>	 <p>【文化体験の様子②】</p>	
5 本時 ・ 6	国語 「人をつつむ形 ー世界の家めぐり」	<p>資料を読み、土地の特徴や人々の暮らしについて理解する。自分の考えを伝え合うことができる。</p>  <p>【グループでの話し合い】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生国語「人をつつむ形ー世界の家めぐり」という教材で、外国の3つの家のつくりについて学習し、様々な国の文化に触れる。 ・ネパールの家のつくりや文化について知り、グループで良い点、不思議に思う点を話し合う。 ・ネパールの家に合うキャッチフレーズを考える。  <p>【授業の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真 ・動画 ・ネパールについての文章 【資料4】 ・ワークシート③ 【資料5】 ・掲示物 【資料6】
7	道徳 「メッセージ」	<p>国や文化が違っていても互いを思い、助け合うことの大切さに気づき、国際親善に努めようとする心情を育てる。</p>  <p>【グループでの話し合い】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネパール大地震や東日本大震災から、他の国を助ける人々の気持ちや思いについて考える。  <p>【板書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に行けない子どもたちについて考え、自分たちにできることはないか検討する。  <p>【学校にいけないことによる負の連鎖】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真 ・負の連鎖カード (JICA 国際理解教育実践資料集) ・ワークシート④

7. 本時の展開（5時間目）			
本時のねらい：資料を読み、土地の特徴や人々の暮らしについて理解することができる。			
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	1. 今まで学習してきた、モンゴル・チュニジア・セネガルの家を振り返る。 2. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 「ネパールの家ってこんな家！」 家のつくりについて整理しよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に載っている家を振り返りながら、材料・土地の特徴・家のつくり・人々の暮らしの4点で家のつくりを整理することを復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の写真
展開 (35分)	3. 資料を使って、ネパールの家について考える。 (1) ネパールの家の写真をみて、家のどの部分かを予想する。 <ul style="list-style-type: none"> 台所の写真 トイレ、シャワー室の写真 家の外観 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>【シャワー室】 【家の外観】</p> (2) ネパールの家についての文章を読み、家のつくりを整理する。 4. 読み取った内容を全体で整理し、良い点や不思議に思う点についてグループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ネパールの位置を確認する。 初めて読む資料なので、まずは写真を見せ興味・関心を引き立てるようにする。 教室に掲示してあるネパールの生活の様子の写真も参考に、どのような様子で生活を送っているのか想像できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真 動画 掲示物
まとめ (5分)	5. まとめ 「ネパールの家ってこんな家」というキャッチフレーズを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 先述した4つのポイントを、1つ1つ順を追ってプリントに整理できるように支援する。 付箋に「良いと思う点」と「不思議に思う点」を書いた後、全体で共有し、ネパールの家についてイメージを膨らませることができるようにする。 共有した内容をもとに、一人一人キャッチフレーズを考え、文化や住む土地が違くと家の様子も変わってくることに気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート
8. 評価規準に基づく本時の評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 資料から正しい部分を読み取り、家の材料・家のつくり・人々の暮らし・土地の特徴について読み取ることができたか。（ワークシート） 付箋紙に自分の考えを書き、積極的に話し合えたか。（話し合いの様子） 			

9. 学習方法及び外部との連携	<ul style="list-style-type: none"> 本単元を行うに当たって、本校にはネパール人の児童が在籍しているので、その保護者から家のつくりや文化について話を聞いた。国語の授業はその情報を活用して行った。実際に教室に招き、体験談等を聞けるようにしたかったが、そこまで行うことができなかったことが課題である。
10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組	<ul style="list-style-type: none"> 今回、学校内外では大きな活動はできず、クラス・学年でしか取り組めなかった。

【自己評価】

11. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事等と重なり、思った時期に授業が展開できないことがあった。 学活だけで授業をやるのではなく、その他の教科とうまく結びつけながら授業を考えていくことが難しかった。(学校に年間計画があるので、単元を入れ替える際には、校長先生に相談をしたり、学年で相談をしたりと周りとうまく協力して行う必要があった。)
12. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> クラスで行う事が多かったので、学校全体で取り組めるようなことを考えたい。 3年生という学年もあり、ネパールで学んだことすべてを伝えようとする、伝わらなかったり、こちらが一方的にしゃべって終わってしまったりする、後半はポイントを絞って授業を行うようにした。
13. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> 児童が外国に興味を持つようになった。ネパール以外にも、他の国の子どもを紹介する本を学級に置くようにしたところ、興味をもって読み、自主学習ノートにはその国の言葉を調べて書いてくる児童がいた。 児童が、異なる文化に対して「そういう文化なのだな」という考えを持つようになった。授業を始めた当初は、とにかく「かわいそう」というイメージをもつことが多かったが、ネパール以外の国の文化を授業で扱ったり、ネパールの文化体験を行ったりする中で、「そういうものなんだ。」「なぜそうなのだろう。」というように、受け入れて、疑問をもつようになった。
14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<p>(振り返りシートより抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本と全然違っていて、こんな場所もあるんだなと思いました。 ネパールの家の様子を見て、テレビがないからびっくりしました。 いろいろな国の家を勉強したけれど、ネパールの家にも住んでみたいと思いました。 世界には、助けが必要な国がたくさんあることが分かりました。 助け合いは、大切だということが分かりました。 学校で回収しているベルマークで何か買って、海外の学校に送ったら、困っている国の人も勉強ができるんじゃないかな。 募金活動なら私たちにもできると思いました。 マクドナルドのハッピーセットのおもちゃを回収して、何かできることがあるかもしれない。
15. 授業者による自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ネパールだけでなく、いろいろな国に子どもたちが興味をもつことができた。今回の授業を通して、少しでも海外に興味をもち「知りたい。」「なぜだろう。」と思うきっかけになっていけば嬉しい。 教師海外研修に参加させていただき、様々な学びを得ることができた。事前研修や事後研修でもたくさんのことを勉強させていただいたので、今後の授業に繋げていきたい。

参考資料：

- 『国際理解教育実践資料集～世界を知ろう！考えよう！～』JICA 地球ひろば
- 『地球の歩き方 ネパール』 株式会社ダイヤモンド・ビッグ社

添付資料：

【資料1】ワークシート①

ネパールってどんな国？
3年 組 番 名前()

1. 知っている外国の名前を5つ書いてみましょう。(5つない時は、知っているだけでいいです。)

2. ネパールという国を知っていましたか？ はい ・ いいえ

3. 「はい」という人:ネパールにどんなイメージをもっていますか？

4. ゆきな先生の話を聞いて、ネパールにどんなイメージをもちましたか？

5. ゆきな先生にミッション!!!
先生の話を聞いて、みんながネパールについて「知りたい!」、「これってなんだろう?」と思ったことを教えてください。
先生ができるかぎり、ネパールで調べてきます!
たとえば... どんなお金? トイレはどうなっているの? 何を食べているの?
どんな生活をしているの?

【資料2】パワーポイント②

ネパール
〇・× クイズ

③ネパールの人は、お金をメモちょうがわりに使うことがある。

①ネパールは手でごはんを食べる。

④ネパールの学校では、4さいからは1年生である。

5さい⇒1年生
6さい⇒2年生
7さい⇒3年生
8さい⇒4年生
9さい⇒5年生
10さい⇒6年生

②ネパールのお金のたんいは、「円」である。

ルピー

⑥ネパールの学校では、テストに合かくしないとりゅう年する。

【資料3】パワーポイント③

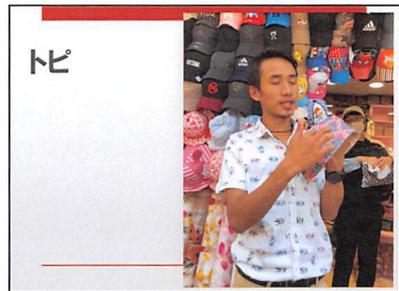
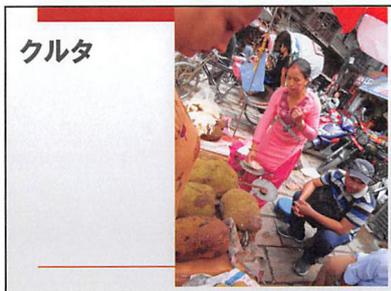
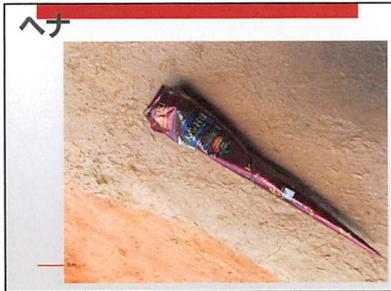
ネパール
ふき発見!

ティカ

カタ

サリー

メヘンディー



【資料4】ネパールについての文章

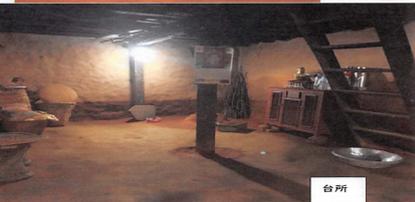
高い山の上の家ーネパール

パレット村は、晴れていると目の前にヒマラヤ山々が見えます。この村は、山の高い所にあります。村にはいろいろなゆるい家があります。今回は、ゆきな先生がとまった家のつくりをしようかします。

この家は、土、木、タンでできています。かべやゆか、土、まどのわくは木でできています。そして、屋根はタンでできています。家の中もほ土でできています。昔は、ざいりようが土しかなく、古い家は土でできていたそうです。入るとすぐに台所があり一階は、台所とごはんを食べる場所になっています。台所には、かまどがあり、そこで火をおこして料理をします。かまどの横には、火をおこすためのまきがたくさんおいてあります。



また、水道はないので、ペットボトルなどを持って水をくみに歩いて行きます。くんできた水は、ペットボトルや水がめのためにためておきます。お皿をあらう時やせんたくをする



時は外で、くんである水を使ってあらっていました。二階は、物置き部屋です。火をおこすためのまきや、荷物などがたくさんおいてあります。

家のおくには、ヤギを飼っているの、ヤギ小屋があります。ネパールでは、それぞれの家で牛やにわとり、ヤギなどを飼っている家がたくさんあります。ヤギなどの動物を飼って、ミルクを売ったり、にわとりのたまごを売ったりしてお金をかせいでいます。



これはトイレとシャワー室です。こちらはレンガでつくられています。そのおくには、しん室のたて物があります。そちらは、コンクリートでできています。ネパールでは、二〇一五年に大きな地震があり、家がこわれてしまったので、しん室はたてなおしたと家の人が話していました。地しんに強い家をつくるために、今までの土やトシンの家ではなくコンクリートで作る家がふえたようです。

このように、家のつくりは台所しん室、トイレシャワーが一つのたて物の中にあるのではなく、分かれて



【資料5】ワークシート③



〈家のつくり〉

〈ざいりょう〉

- ・かべやゆかは ()。
- ・まどのわくは ()。
- ・屋根は ()。
- ・トイレ・シャワー室は ()。
- ・しん室は ()。

国の名前

〈人々のくらし〉

〈土地のとくちょう〉

名前 ()

〈ネパールの家ってこんな家〉

【資料6】掲示物

